

当組合は、平成6年に共同販売施設「身延山みやげセンター」の運営と管理を目的に、身延山門前で土産品を販売していた小売業者により設立されました。

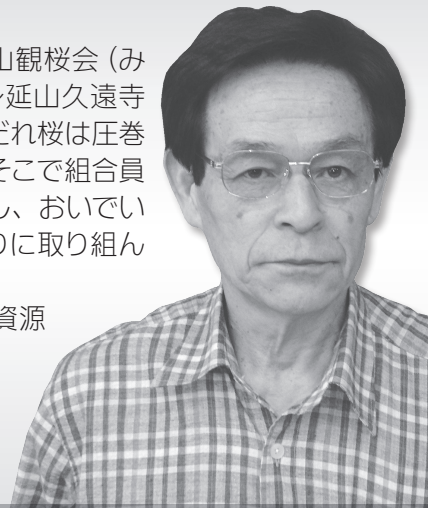
「身延山みやげセンター」は、身延山久遠寺に最も近い通称西谷の駐車場(収容台数130台)に隣接し、近くには身延山ロープウェイ駅や飲食店があり、駐車場やロープウェイ駅などを利用するお客様に土産品をお求めいただいています。

主な土産品は、菓子・飴類、漬け物などの食品、珠数などの仏具関連類の商品、印傳など山梨の特産品です。ここ数年売上は伸びず減少傾向です。身延山久遠寺は日蓮宗の総本山として多くの人々の信仰を集め、年間を通じて全国各地から観光客や参拝者などが訪れていますが、近年の観光スタイルの変化、信徒の高齢化や若者の宗教離れなどにより、観光客や参拝者が年々減少しています。そこで、組合では、身延山地域に人を呼び込むため、地元観光協会等に協力し、地域の特徴を活かした

イベントなどを通じた誘客に取り組んでいます。

その一つとして、毎年4月初旬に行われる身延山観桜会(みのぶさんかんおうえ)への取り組みがあります。身延山久遠寺境内の祖師堂前と仏殿前にある樹齢400年のしだれ桜は圧巻で、桜の名所として観桜時期は大変混雑します。そこで組合員が総出で交通誘導などイベントスタッフとして協力し、おいでいただくお客様に喜んでいただけるような環境づくりに取り組んでいます。

この地域の歴史・文化を基礎に経済効果を生む資源として磨き上げ、訪れるお客様に「旅の思い出に、選んで楽しい、貰って嬉しい」お土産が提供できるよう組合員が一致団結して努力を重ねていきたいと思っています。



身延珠数土産品協同組合 理事長 山本 晴敏